

堀川商店街 遊びの一日

クイズラリーやすごろく、演奏楽しむ



子どもたちが企画運営した春祭り(京都市上京区・堀川ACラボ)

児童ら企画「春祭り」

京都市上京区の堀川商店街で21日、地域にぎわいを取り戻すため子どもたちが企画した「春祭り」が開かれた。クイズラリーなどのイベントのほか、拠点となった堀川ACラボでは手作りのすくを楽しんだり、カフェ

コーナーでウクレレ演奏を聴いたりして子どもと住民らが和やかに交流した。

高齢者や子どもたちが休憩する場所がないという同商店街の課題解決と、子どもの起業家精神の育成を兼ね、NPO法人アントレプレ

レナトシップ開発センター(中京区)が催した。

事前に応募した小学4〜6年の子ども8人が、会社組織を模した「堀商キッズ社」の社員となり、1月から企画会議を4回実施。イベント内容の立案や商店に依頼して割引券付きのチラシを作るなど準備を進めてきた。

イベントの開始直後から同ラボには地域の子どもや住民らが訪れ、「社員」たちが受け付けやクイズラリーの説明などを行った。

「楽しかったのか、考えるのが楽しかった」と話し、営業部長の田村展克君(11)「上京区でも「みんな頑張つて活動している姿を見てほしい」と意気込んでいた。(小川卓宏)

社長の今河咲乃さん(12)「北区は」